

ポラリス リサーチ レポート

2025年8月
No.112

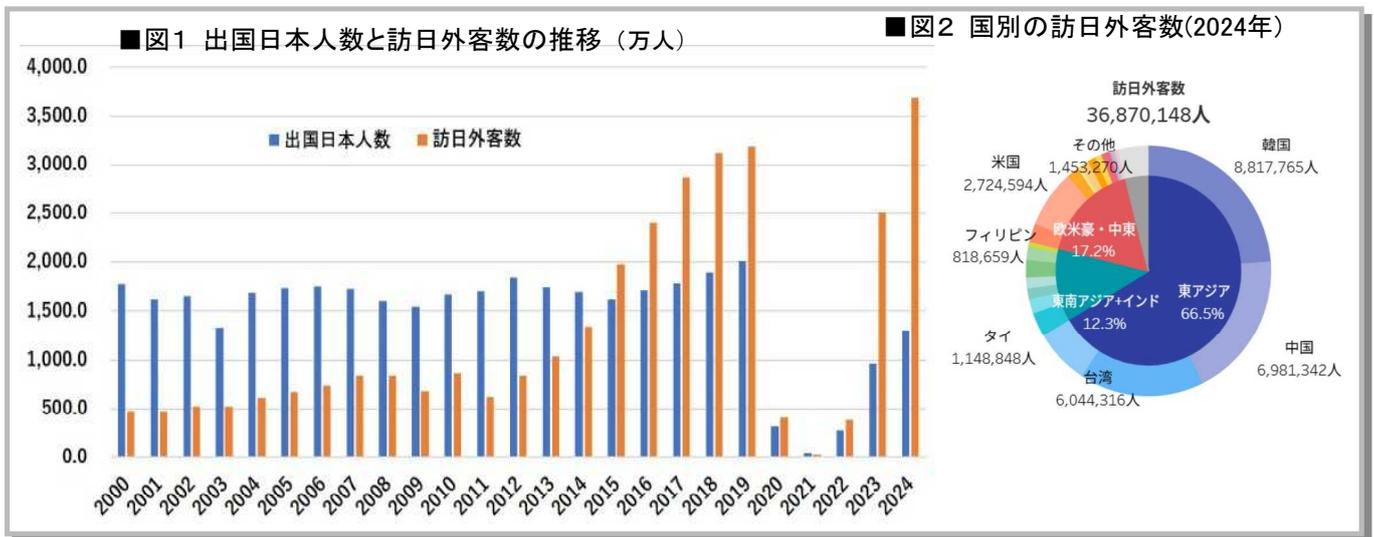


今年の夏休み、旅行や帰省などのご予定はございますか？

●インバウンド 観光庁「日本の統計データ」より

図1は2000年からの訪日外客数と出国日本人数の推移です。訪日外国人は2011年頃から増え始め、2024年には3,687万人と過去最高となり、今年も昨年を上回る勢いです。一方で、日本人の出国数は1,300万人とコロナ前に比べて回復していません。

2024年の訪日外客の国籍は、韓国が最も多く、次いで中国、台湾、米国、香港の順となっています。コロナ前の2019年と比べると、韓国と米国からが増えており、中国からは約2割減少しています。



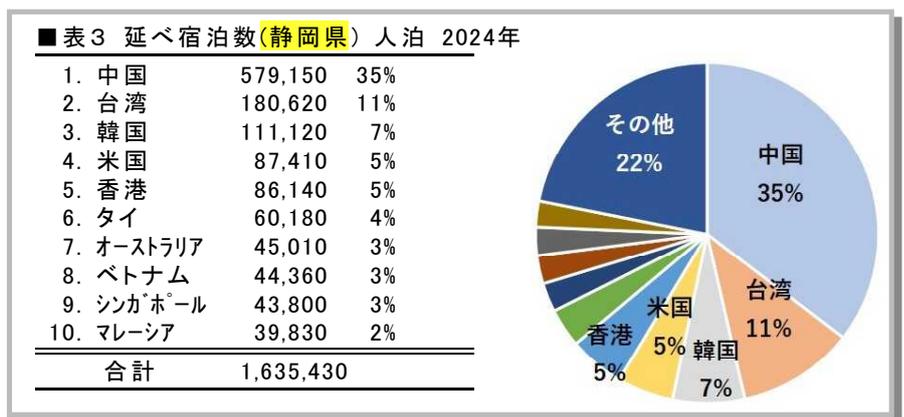
●静岡県へのインバウンド

2024年の都道府県別「訪問率ランキング」(表2)は、東京都が最も多く51.5%で、大阪府(39.6%)千葉県(36.6%)京都府(29.5%)と続き、静岡県は3.5%です。

2024年の「延べ宿泊数」(表3)は全国で138,531,770人泊で、静岡県は1,635,430人泊(全国の1.18%)です。国籍は、中国が最も多く、台湾、韓国、米国、香港、タイの順となっています。

■表2 訪問率ランキング* %

1. 東京都	51.5
2. 大阪府	39.6
3. 千葉県	36.6
4. 京都府	29.5
5. 福岡県	11.2
6. 神奈川県	9.1
7. 奈良県	8.0
8. 山梨県	8.0
9. 愛知県	6.8
10. 北海道	6.6
15. 静岡県	3.5

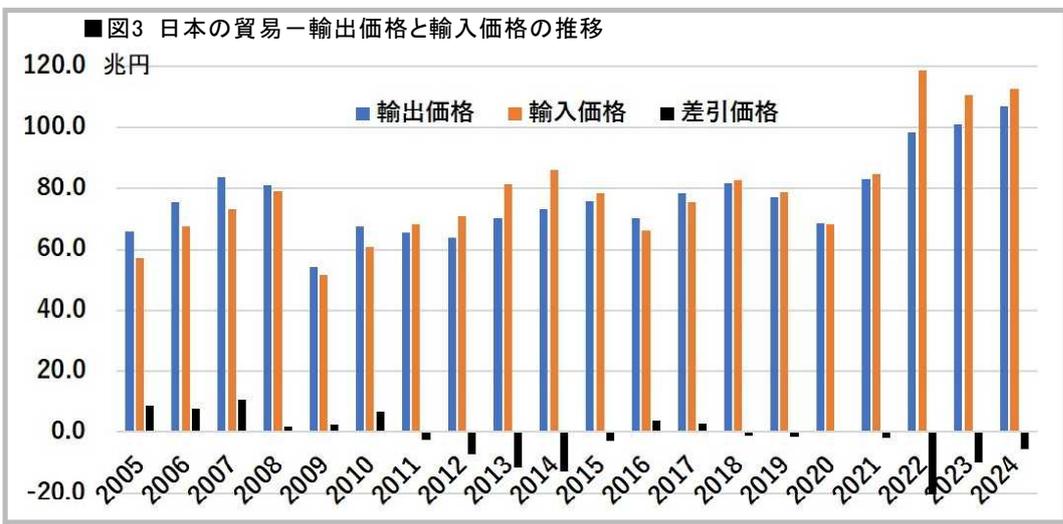


日米貿易交渉で相互関税が15%となった。本リサーチレポートではこれまで、トランプ政権の貿易関税交渉の背景を探るため、米国や日本の貿易統計から(単位: ¥, US\$)、

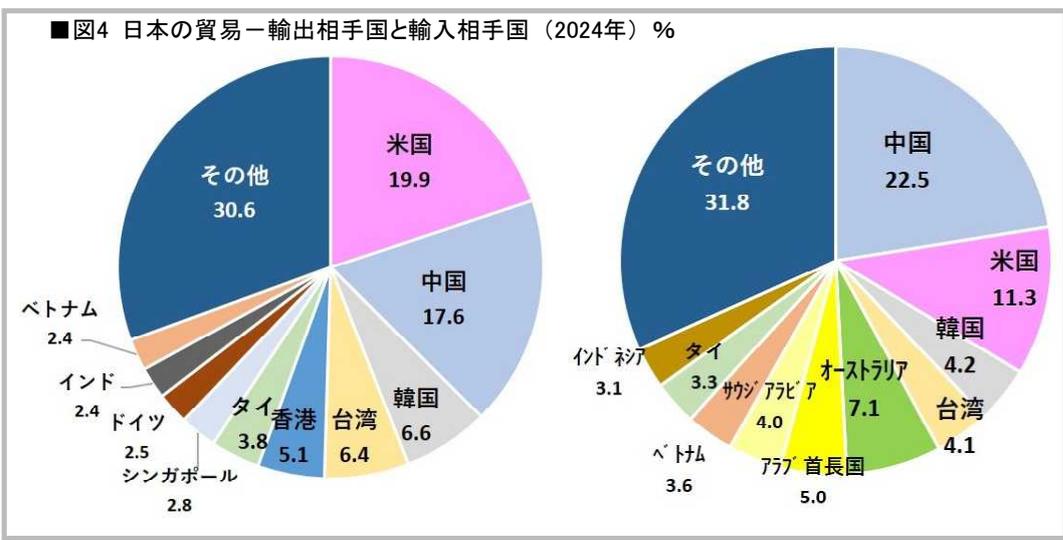
- ①米国の全輸入品・全輸出品の上位15品目(4月号)
- ②米国の貿易相手国上位20ヶ国(4月号)
- ③米国の日本からの輸入品・日本への輸出品の上位20品目(4月号)
- ④米国の自動車と自動車部品の輸入推移(5月号)
- ⑤日本の自動車と自動車部品の輸出入推移(6月号)
- ⑥日本の自動車の輸出先上位10ヶ国(6月号)
- ⑦米国の a)日本・b)中国・c)タイ・d)ベトナムからの輸入品の上位10品目(7月号)

をお伝えしてきた。

図3は2000年から25年間の輸出入額の推移で、コロナ以後、拡大しており、2024年には、日本から輸出が107.1兆円円で、日本への輸入が112.6兆円となっている。



2024年の日本の輸出先は米国、中国、韓国、台湾、香港などで、輸入先は中国、米国、オーストラリア、アラブ首長国等となっている。



日本経済は米国や中国の景気や政策に大きく影響を受ける事がわかる。

統計データを読み解き、市場調査を行いながら、中長期視点で、例えば、a) 米国での生産拠点の開設や拡大の可能性、b) 中国での生産維持または第三国への工場移転、c) 東南アジア等の国々での取引先の開拓など、様々な可能性を検討したい。



← バックナンバー

2025年7月25日執筆

市場調査と統計データ分析で 売上の未来を描く

*** 市場調査のやり方研修・統計データ分析の研修 で貴社をサポートします***

合同会社ポラリス 〒430-0942 浜松市中央区松島町 ko-ichi@24kawa.org

執筆 西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員)

マーケット開拓・ビジネス戦略・新規事業・中期計画は 市場調査と統計データ分析から